

《養成講座の内容》

◎養成講座は、グループ研修と講義で構成されています。

◎グループ研修は土曜日の午前または午後の2時間～2時間半の予定です。時間帯は応募状況により決定します。

講義は原則として月1回、土曜日午後の2時間で実施します。

—養成講座40期のプログラム例—

1年目『電話相談の基礎を学ぶ』

第1課程

6月～9月

- グループ研修（月2回程度）
『心の動きに目を向けるワーク』
- 講義
 - ・「『いのちの電話』の基本理念—ビフレンディングということ」
永原伸彦（笠間の森カウンセリングルーム）
 - ・「養成講座の学び方」
寺川亜弥子（臨床心理士）
 - ・「いのちの電話とボランティア—相談員になるということ—」
杉江 征（筑波大学）
茨城いのちの電話研修スタッフ

第2課程

10月～1月

- グループ研修（月2回程度）
『聴き方のトレーニング』
- 講義
 - ・「家族」
三輪壽二（茨城大学）
 - ・「精神障害」
佐々木恵美
（茨城県精神保健福祉センター）
 - ・「思春期」
守屋英子（臨床心理士）
 - ・「性に関する相談への理解と対応」

第3課程

2月～5月

- グループ研修（月2回程度）
『電話相談の対応について学ぶ』
- 講義
 - ・「危機介入」
大滝 優（大滝優産業医事務所）
 - ・「聴くということ」
杉江 征（常葉大学）
- **進級式**

2年目『電話相談の実際を学ぶ』

第4課程

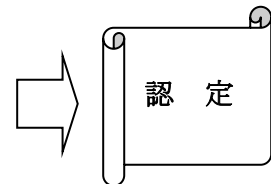
6月～10月

- 電話担当実習（月1～2回）
- グループ研修（月1回）
- 講義
 - ・「精神障害者への理解と対応」
大久保文代（精神保健福祉士）
 - ・「働く人のメンタルヘルス」
沼田世里（茨城大学）

第5課程

11月～3月

- 電話担当実習（月2回）
- グループ研修（月1回）
- 講義
 - ・「いのちの電話の理念と役割」
茨城いのちの電話研修スタッフ



※宿泊研修は必修です。ただし、状況により内容を変更する場合があります。

認定について

出席状況や学習状況によっては、次の課程に進めないことがあります。
認定の判断は、第5課程終了後、総合的に評価して行われます。

《2026年度の研修にご協力いただいた方々》

池田 名緒子（恵和社会復帰センター）

寺川 亜弥子（臨床心理士）

岩田 淳子（成蹊大学）

東畑 開人（白金高輪カウンセリングルーム）

大久保 文代（精神保健福祉士）

永原 伸彦（笠間の森カウンセリングルーム）

大滝 優（大滝優産業医事務所）

人見 健太郎（みとかんせりんぐ ルームどんぐり）

北川 恭子（カウンセラー）

松田 瑞穂（臨床心理士）

佐々木 恵美（茨城県精神保健福祉センター）

松野 好子（臨床心理士）

佐藤 康江（臨床心理士）

三輪 壽二（茨城大学）

正保 春彦（茨城大学）

森本 純代（臨床心理士）

杉江 征（常葉大学）

守屋 英子（臨床心理士）

高岡 美記（みとかんせりんぐ ルームどんぐり）

五十音順 敬称略